

「TURN フェス」(平成 28 年 3 月 4 日~6 日)
エキシビション、カンファレンスなど詳細が決定しました!

TURNフェス

「出会い」が変わる、「出会い」を楽しむ3日間

平成28年3月4日[金]-6日[日] 東京都美術館 公募展示室1階
第2・3展示室、講堂

主催 | 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人Art's Embrace
協力 | 東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」 監修 | 日比野 克彦



東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導するリーディング・プロジェクト「TURN」の一環で開催される「TURN フェス」。このたび、異なる背景や習慣をもつ一人ひとりが、「出会う」ことを楽しみ、深め、共有するフェスティバルとして、日比野克彦氏による監修のもと、詳細な内容が決定しました。

「TURN フェス」のカンファレンスでは、4 つのセッションを開催し、多様な経験や価値観を新しい「知」として考え、共有する場を設けます。また、エキシビションでは、16 組の表現から人と人が「出会う」ことの可能性を提示します。

■開催概要

- ・正式名称:TURN フェス
- ・会 期:平成 28 年 3 月 4 日(金)~6 日(日)
- ・会 場:東京都美術館 公募展示室 1 階第 2・3 展示室、講堂(東京都台東区上野公園 8-36)

[エキシビション]

- ・会場:東京都美術館 公募展示室 1 階 第 2・3 展示室 ・観覧料:無料
- ・開室日時:3 月 4 日(金)~6 日(日) 9:30~17:30(入室は閉室の 30 分前まで)

[カンファレンス]

- ・会場:東京都美術館 講堂 ・参加費:無料 / 事前予約不要 各回先着 200 名
- ・開催日時:3 月 5 日(土) 13:00~14:30、15:00~16:30 / 3 月 6 日(日) 13:00~14:30、15:00~16:30
- ・主 催:東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人 Art's Embrace
- ・協 力:東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」
- ・公式 URL: <http://turn-project.com/event/27>

■エキシビション詳細

エキシビションでは、アーティストが、障害のある人や生きづらさを抱えた若者たち、そして家族や支援者と出会い、彼らの日常に少しずつ触れながら関わりあって生まれた作品やプロジェクトが発表されます。インスタレーション、映像、音楽、パフォーマンス、体験型作品など、多様な表現をぜひお楽しみください。

●参加アーティスト×福祉施設・コミュニティ

- ・EAT&ART TARO
- ・五十嵐 靖晃 × クラフト工房 La Mano
- ・池田 晶紀、川瀬 一絵 × 社会福祉法人きょうされん リサイクル洗びんセンター
- ・稲葉 諒 × クラフト工房 La Mano
- ・今井 さつき × シューレ大学
- ・大崎 晴地
- ・角銅 真実 × 大田区立障がい者総合サポートセンター
- ・北澤 潤
- ・James Jack × ハーモニー
- ・富塚 絵美（協力:板橋区立小茂根福祉園）
- ・中崎 透 × 認定特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ
- ・奈良県立大学地域創造学部都市文化コモンズ × 一般財団法人たんぼぼの家
- ・柳 雄斗 × コミュニティセンターakta
- ・山城 大督 × アプローチ南青山
- ・アジア代表 マッチフラッグワークショップ × 工房まる

●出品作品イメージ

James Jack × ハーモニー
《 The Sea in Between Us 》



参考作品 《高松一那覇、航海》2015年

人や場の関係に関心を持つ James Jack は、心に病を持つ人たちとハーモニーで出会いました。彼らと共に散策をしたり、詩を読んだりしながら時間を過ごし、その丁寧な関係性をインスタレーション作品として発表します。

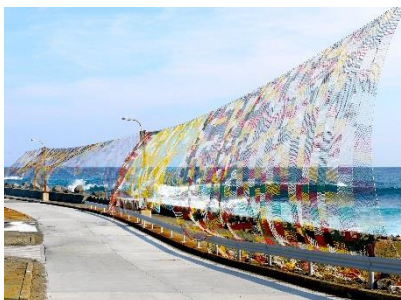
池田 晶紀 × 社会福祉法人きょうされん
リサイクル洗びんセンター
《 Portrait 》



《Portrait》2016年

シリーズ「休日の写真館」や「ポートレートプロジェクト」など、ポートレートをドラマチックな作品に手がけてきた池田晶紀。今回はリサイクル洗びんセンターで働く人々のユニフォーム姿と向かい合います。

五十嵐 靖晃
× クラフト工房 La Mano
《 New Horizon 》



参考作品《そらあみ-三宅島-帰島式》2013年

一本の糸から漁網を地域の人々と編み、空にかける《そらあみ》など、協働を通じて景色をつくり変えるような表現をしてきた五十嵐靖晃。クラフト工房 La Mano のメンバーと共に藍で染めた糸を用い、新しい景色を生み出します。

北澤 潤
《 TURN する日常 》



参考作品《DAILYLIFE 20140410》2014年

北澤潤は、日常を問い直すようなアートプロジェクトを各地で展開してきました。今回は、都内外の福祉施設や精神病院などを横断的にリサーチし、その中で得た問いを共有する場を設けます。

大崎 晴地
《 エアートンネル 》



《エアートンネル》2013年

臨床現場の専門家と共に、心と身体、発達のリハビリテーションや病理をテーマに作品を制作してきた大崎晴地。ふわふわと揺れる布の中で、子供から大人まで楽しく過ごせる《エアートンネル》を会場に出現させます。

■カンファレンス詳細

カンファレンスでは、「TURN」という言葉を手がかりに、多様な経験や価値観を共有する対話の場を設けます。「TURN」に込められているのは、人の身体や知性、創造性などにもう一度目を向け、人としての原点に立ち返ることから、日常を変えようとする意志。各セッションでは、アート、福祉、教育、科学など、多彩な分野からゲストを迎え、「人」「場」「アイデンティティ」をテーマに、これからの課題を共有します。

3月5日(土) 第1部 13時00分～14時30分

「芸術による人づくりと学びの場」

多様な人と共に生きる社会において、芸術や表現者はいかなる役割を担うのでしょうか。日本における芸術教育の最先端の現場から、2020年を見据えた「芸術と教育」の姿について語り合います。

出演:松下 功(東京藝術大学 副学長)

本郷 寛(東京藝術大学大学院 美術研究科 美術教育 教授)

日比野 克彦(TURN 監修者、東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 教授)

ファシリテーター:伊藤 達矢(とびらプロジェクトマネージャ)

3月5日(土) 第2部 15時00分～16時30分

「人という場をつくる実践」

一人ひとり向き合う福祉の現場、新しい関係を作ろうとするアートの現場、その両方を横断しようとする活動の現在。多様な人と人が共にいる「場づくり」について、それぞれの試みを語ります。

出演:岡部 太郎(一般財団法人たんぽぽの家 事務局長)

小山田 徹(美術家、京都市立芸術大学 美術学部 教授)

奥山 理子(みずのき美術館キュレーター、アーツカウンシル東京 TURN コーディネーター)

ファシリテーター:稲庭 彩和子(東京都美術館学芸員 アート・コミュニケーション担当係長)

3月6日(日) 第1部 13時00分～14時30分

「その人らしさ」について考える」

多様性の本質的な価値と魅力とは。「多様なあり方」のマネジメントに関わる実践者が集い、それぞれのプロジェクトや経験から考え、無理のない「その人らしさ」の可能性を探ります。

出演:海老原 周子(非営利団体新宿アートプロジェクト代表)

富樫 多紀(東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野学術支援専門職員)

奥山 理子(みずのき美術館キュレーター、アーツカウンシル東京 TURN コーディネーター)

3月6日(日) 第2部 15時00分～16時30分

「科学と未来と、人間であること」

2045年、人類は技術的特異点(シンギュラリティ)を迎え、社会の価値観が大きく覆されると予想されています。科学と未来の問題提起から、改めて人間、知性、そして障害とは何かを考えます。

出演:ドミニク・チェン(情報学研究者、IT 起業家、『シンギュラリティ 人工知能から超知能へ』翻訳者)

久保田 翠(認定特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ 理事長)

日比野 克彦(TURN 監修者、東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 教授)

ディレクター:森 司(アーツカウンシル東京 リーディング・プロジェクトディレクター)

【リーディング・プロジェクトとは】

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であると同時に、文化の祭典でもあります。国際オリンピック委員会(IOC)の「オリンピック憲章」には文化プログラムの開催が定められており*、東京 2020 大会では、スポーツ競技に先立ち、リオ 2016 大会後から 2020 年までの 4 年間にわたって開催されます。リーディング・プロジェクトは文化プログラムの展開に向けた東京都のモデル事業として平成 27(2015)年度よりスタートしました。

*「OCOG(オリンピック競技大会組織委員会)は少なくともオリンピック村の開村から閉村までの期間、文化イベントのプログラムを催すものとする。当該プログラムは IOC 理事会に提出し、事前に承認を得なければならない。」(第 5 章・第 39 条)

参考文献:公益財団法人日本オリンピック委員会「オリンピック憲章 Olympic Charter 2015 年版・英和対訳(2015年8月2日から有効)」

【TURN とは】

多様な人との出会い方、つながり方に創造性を携え働きかけていくアートプロジェクト。東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの先導的役割を果たす「リーディング・プロジェクト」として、平成 27 年度より始めました。今後、年 1 回の「TURN フェス」の開催や、「TURN センター」(平成 28 年度開始予定)を通じ、一人ひとり異なる全ての人に向けて、新たな文化的体験をつくり出すことを目指します。

<http://turn-project.com/>

・監修:日比野 克彦(アーティスト、東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 教授)

・リーディング・プロジェクトディレクター:森 司(アーツカウンシル東京)

・コーディネーター:奥山 理子(アーツカウンシル東京、みずのき美術館キュレーター)

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組んでいます。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムに向けて、先導的役割を担うプロジェクトを展開しています。

<http://www.artscouncil-tokyo.jp>

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京広報 担当:森(隆)、浅野

TEL:03-6256-8432 E-mail:press@artscouncil-tokyo.jp

CULTURE



TOKYO